



## 白内障について

問 稲城市保健センター

☎378-3421

高齢者が現役として活躍することの多い現代社会において、視力障害はさまざまなトラブルの原因になります。その視力障害の中でも多くの方がお悩みになっている白内障についてお話しします。

白内障とは、水晶体が年齢と共に白く濁って視力が低下する病気です。水晶体は、よくカメラのレンズに例えられますが、外からの光を集めてピントを合わせる働きを持っています。通常は透明な組織ですが、白内障ではこの水晶体が白く濁ってしまうため、見え方が悪くなります。

さて白内障の治療です。初期の段階では、点眼治療が基本治療となりますが、濁った水晶体を元に戻すことはできません。見え方を改善するには手術を行います。白内障の手術は濁った水晶体を取り除き、人工水晶体である眼内レンズを挿入する方法が一般的に行われています。手術時間はおよそ10～15分程度で、手術中の痛みは局所麻酔を行いますのでほとんどありません。

以前では手術の際、黒目の半周ほどの切開が必要でしたが、最近では3ミリ前後で手術が行えます。目にかかる負担も少なくなり、今まで以上に安心して手術を受けていただけるようになりました。しかし、挿入した眼内レンズには、ピント調節はないため手術後もメガネなどによる視力矯正が必要な場合があります。ですが最近では、遠近両用眼鏡と似た働きを持つ眼内レンズがあります。こちらは現在、健康保険が適用されず、自費診療となりますが、メガネの必要性が軽減します。ただし、この効果は全員の方に保証されるものではなく、夜間のライトなどが見づらくなったりすることもあります。

白内障手術と一言にいても様々ありますので、一度眼科を受診し、ご相談されてみることをお勧めします。

稲城市医師会 出川 慎之